

9月29日 (土)

午後1時30分～5時

資料代500円

会場: 港区立商工会館2階研修室

東京都港区海岸 1-4-28 / 電話: 03-3433-0862

【最寄り駅】 JR 浜松町駅北口から竹芝栈橋方面へ徒歩7分

都営地下鉄浅草線・大江戸線大門駅 B2 出口より徒歩10分



◇講演会

(仮題) 今、731部隊所属の軍医の 医学博士論文を検証する

講師: 西山勝夫さん (滋賀医科大名誉教授)

コメント: 近藤昭二さん (ジャーナリスト)

【講師紹介】

西山勝夫氏は、731部隊所属の軍医らの学位申請時の提出論文を検討してこられた。本年4月、西山氏が事務局長を務める「満州第731部隊軍医将校の学位授与の検証を京大に求める会」(京都市中京区)は、旧日本軍731部隊所属の軍医平澤正欣が戦時中に申請した学位論文について、同論文の内容が人体実験をもとに作成された可能性が高いとして、学位を授与した京都大(当時は京都帝国大学)に学位論文の検証を申入れた。この平澤学位論文がかかえている様々な問題について西山氏に語っていただく。

《今も政府が認めない731部隊とは?》

日本軍中枢は国際法を無視し細菌戦を構想し1930年代前半から軍医石井四郎らを軸に中国東北部に細菌戦部隊の基地を作り始めた。1936年には細菌戦部隊の関東軍防疫部を設け、ハルビン郊外の平房に大規模な軍事施設を建設。1940年、同施設を本部とする「関東軍防疫給水部」が設けられ、翌年から731部隊と呼ばれた。

731部隊等による細菌兵器の開発・製造の人体実験で3千人を超える中国人・韓国人・ロシア人などが虐殺されたこと、また細菌作戦がペストやコレラを大流行させ3万人以上の中国住民を疫病の犠牲にした。しかし戦後の日本政府は731部隊の人体事件や細菌戦の事実を全く認めず、現在、自衛隊はテロ対策を口実に予算を取って公然と生物戦研究を行っている。

731部隊問題関連訴訟の裁判日程

皆様の傍聴をお願いします!

- ① ビザ発給拒否・集会妨害国賠訴訟【民事1部】(第10回) / 9月21日(金) 11:30 / 東京地裁415号法廷
- ② 情報公開裁判(化学学校記事)【民事3部】(第9回) / 9月26日(水) 16:00 / 東京地裁522号法廷
- ③ 情報公開裁判(衛生学校記事)【民事51部】(第19回) / 10月18日(木) 11:00 / 東京地裁419号法廷
- ④ 安倍靖国参拝違憲訴訟【東京高裁第10民事部】第3回 / 10月25日(水) 13:30 / 高裁101号法廷

*①と④の裁判では浙江省と湖南省の細菌戦被害者が原告になっています。

2018.07.25

主催: NPO法人 731部隊・細菌戦資料センター

(共同代表 近藤昭二[ジャーナリスト]・王選[細菌戦犠牲者遺族、上海交通大学客員教授]・松井英介[医師])

◆お問い合わせ: 一瀬法律事務所: 東京都港区西新橋 1-21-5 / Email: info@ichinoselaw.com 担当元永(もとなが)、小田,
Tel: 03-3501-5558 Fax: 03-3501-5565 / ◆ Website: <http://www.anti731saikinsen.net/>